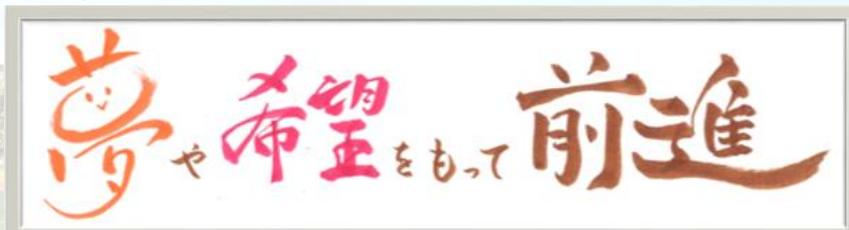


泰日協会学校（バンコク日本人学校）学校だより
Thai Japanese Association School



令和7年度
第13号

<https://www.tjas.ac.th>

小学部職員室

02-319-5457

中学部職員室

02-314-7335



ありがとうございました

泰日協会学校・バンコク日本人学校
校長 藤原 鎌次

3月7日（土）に卒業式、そして本日、修了式を終え、令和7年度の教育活動を締めくくりました。
保護者の皆様、学校関係者の皆様、1年間温かいご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。

私は毎朝、子供たちの登校時にレインボーゲート付近で挨拶をしています。

元気な声で挨拶する子、少し眠そうに挨拶する子、声を出さないけど会釈をする子など人それぞれの挨拶が返ってきます。でも、誰一人として、無反応の子はいません。

なぜ挨拶をした方が良いのかは、いろいろな考え方があると思います。

いろいろな考え方があるということは、視点を変えると、どんな考えが正解というものはない、どうして挨拶が大切であるかという「自分自身の考え」を確立することが重要なのだと思います。

しかもその「自分自身の考え」は、年齢を重ねていくに従って変わっていくのも当然だと思います。

私自身、自分の幼少時代と現在では、挨拶の大切さに対する考えは、全く違います。

子供たちは、これから成長する過程において、様々な困難なことや苦しいことがあり、時には躓き、絶望感を味わうこともあるかもしれません。

しかし、そこから立ち上がって、また前進するときに必要なことは、「自分自身の考え」や「自分自身の決意」を確実に持っていることです。

その基盤となるものが「夢や希望」だと信じています。

私は今年度も「夢や希望を持って前進」することの大切さを伝えてきました。

伝えるだけでなく、教職員自身も夢や希望を持って前進する姿を子供たちに示してきました。

ぜひ、保護者の皆様も自らの姿で、子供たちに、夢や希望を持って前進する素晴らしさを示していただけるとありがたいです。

保護者の皆様、教職員が強く連携を図りながら、バンコク日本人学校の子供たちが、これからも夢や希望を持って、自分の人生を自分で切り拓いていくことを心から願っています。

今年度1年間、ありがとうございました。

また、私事で恐縮ですが、私は今年度をもって任期を終え、本帰国いたします。

改めて、今までのご支援ご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

